

プレイヤーノート

by "Game Fun Assurance Committee
Chairman" Daniel Broh-Kahn

あなたが『エクスポーター作戦』のセットアップは終えたとして……でもそこで、どうしようかと悩むんじゃないかな？

夏の地中海に降り立つ前に、君と同じ立場を経験したプレイテスターの経験談をちょっと読んでみるのもいいんじゃないかと思う。OCSの詳細には立ち入らないけど、その方がいいでしょう。OCSシリーズルールにはシステムに関しても優れたアドバイスがあるから、そちらを参照して！ それに『エクスポーター作戦』には初心者向けの初期配置カードも入っているしね。私が初心者だった時には、戦闘結果表（奇襲チェック！）や恐ろしく重要なアクションレーティング値に負けず劣らず、編成や補給のルールに感銘を受けたものだった。もし君がまだOCSのルールに十分に習得していないならば、これから書くことの意味は少しわかりづらいかもしれないから、気をつけて！

オーケー、あなたはOCSシステムは理解しているとしよう。じゃあ、エクスポーター作戦全体をざっと見て、その後に戦略や戦術について考えてみる。このゲームは1週間が4ターンだ。これは通常のOCSの1週間2ターンとは違っているけれども、このゲームに非常に適切なユニット密度を与えることに成功している。両軍プレイヤーはまず、このゲームがどれだけの長さであるかを認識しておくべきだ。基本的に、イギリス連邦軍が攻撃側となり、限られた時間の中で目標を奪取しなければならぬ。ヴィシーフランス軍の任務は単純に生き残ること、領土を維持することであり、両者の目標は相反するわけだ。

戦術：コインの両面からユニットについて見てみよう。まずヴィシーフランス軍について語ろうかと思ったが、ああ、無理だ！

というのは、ヴィシーフランス軍には2つの面があるからだ。平均値で見ると、イギリス連邦軍のユニットはヴィシーフランス軍のユニットよりアクションレーティングが若干優れている。だが、これはほとんどないミスリードに繋がる。なぜならば、アクションレーティングは1の差がとてつもなく大きいからだ！ イギリス連邦軍プレイヤーは、アクションレーティングが低いユニットにアクションレーティングの高いユニットを1個混ぜて戦う。これは攻撃で勝利するためのテクニックだけど、イギリス連邦軍は同時にアクションレー

ティングの高いユニットを危険に晒すことになる。ヴィシーフランス軍はイギリス連邦軍みたいなテクニックを採ることは難しいけれども、イギリス連邦軍のやり方を知っているということ自体が強みになるはずだ。

機動：あらゆるOCSゲームで機動は重要な要素だけど、このゲームでもそのことはなにも変わらない。実際、このゲームの機動の効果はもっと声を大にしてもいいかもしれない！ どうしてって？ このゲームの舞台は険しい地形だらけのくせに、移動モードの自動車化ユニットが邪魔されずに道路を走ると、盤上のはるか遠くまで進んでいけるからだ。他のOCSゲームならば、重要な交差点に十分なユニットを守備隊に置けるかもしれないけれど、このゲームの両軍にはそんなにたくさんのユニットはない。このことは何度言っても言い過ぎるということはないよ。増援は本当にわずかだから、この言葉はゲームが進むにつれますます真実になってくる！ ゲーム序盤に少しばかりの増援が来て、断続的にユニットが回復して戻ってくるけれども、賢明なヴィシーフランス軍プレイヤーならば、最初に持っている戦力でずっとやりくりしていかなければならぬことがすぐにわかるだろう。だから、部隊、特に航空戦力と機甲部隊は失わないようにしなければならない。イギリス連邦軍にも同じことが言えるけれども、大事なことは圧力を加え続けることなんだ。

補給：私はこのゲームの両軍を何度もテストプレイしたけれど、補給を使い果たしたことはなかった。ところが、必要な場所に補給がないという状況には何度も遭遇した！ だから心すべし。いつ補給を使うか前もって計画しておき、補給トークンを最も効果的に使えるように常に努力すべきだ。わずかしかない輸送トラックと輸送ワゴンで必要なところに補給を輸送し、補給集積所は常に守備しておかないといけない。ほらほら、ユニットは絶対に足りないって言っただろう？

機甲、歩兵、砲兵：これらの詳細を述べたいところだけど、OCS初心者は予備と突破移動の重要性、そして移動モードについてよく理解しておくこと。平均的な戦車か装甲車のユニットを取り出して裏を向けてみると、移動モードの彼らがどれほど速くなっているかがわかるだろう。この知識を活かして、ユニットを常に適切なモードで置かないといけない！ それに、装甲ユニットと機械化ユニットの戦闘力は平地

（装甲はLow Hillでも）では2倍になることを忘れないこと。ところが、これらのユニットは平地以外のほとんどの場所では戦闘力が半分になってしまう！

航空機：両軍共に航空ユニットは貴重だから、注意深く運用すること。戦闘機ユニットのたった1ステップを失っただけで、敵の集中攻撃に遭い、坂道を転げ落ちるがごとく破滅に向かってしまうかもしれない。警戒空域に関するOCSシリーズルールを再読しておくこと。それを理解しておかないと、必要でない場所に航空ユニットを置いてしまうかもしれない。そんなことをしている余裕は全くないのだ。地上部隊を守るために、警戒空域の空の傘についてよく理解しておこう。爆撃機があれば、敵の行動を阻止して混乱させられるかもしれない！ ヴィシーフランス軍は、ハジャズ鉄道線に鉄道妨害してみても大きな効果があるかもしれない。

コマンド部隊：ヴィシーフランス軍は警戒せよ！ 我々テストプレイヤーはコマンド部隊について長々と議論していたから、このことについて論文でも書けるくらいだが、一言だけ言っておこう。注意深くコマンド部隊のルールを何度も読み、上陸成功（不成功）の意味するところを正確に理解しておくこと。イギリス連邦軍プレイヤーもヴィシーフランス軍プレイヤーも、最悪の結果に備えながらも最高の結果を期待し、しかし平均的な結果が出ると思っておくべきだ。ヴィシーフランス軍の最悪の結果とは、イギリス連邦軍のコマンド部隊の上陸作戦が大成功し、イギリス海軍からも補給を与えられ、この結果、海岸道が切断されて南レバノンにいる部隊への一般補給が途絶する……という状況だ。これは大惨事だが、実際に起こりうることであり、ヴィシーフランス軍プレイヤーはそれに備えなければならない！ ヴィシーフランス軍プレイヤーが注意深く初期配置するとコマンド部隊は一掃されてしまうだろうが、こういう時は、イギリス連邦軍プレイヤーは、しかしまあ少なくとも敵を楽しませたわけだから……と諦めるしかないだろう。

戦略：ここから先は地図盤を見ながら進めていく。最も考慮すべきなのは、道路と鉄道線のネットワークだ。町や村も重要だけど、それらを占領するためには険しい地形に輸送ネットワークを構築しなければならない。山脈や断崖は地上ユニットの通行を厳しく制限する。でも、これにチャレンジするのはイギリス連邦軍である。レバノンからシリアへと侵攻するための主たる進撃